

日本ガラス工芸学会
第 35 回 日本ガラス工芸学会・研究会〔東京〕のご案内

師走の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

毎年恒例の年末の研究会ですが、本年度は年明けに開催する運びとなりました。今回は 10 月の大会 2 日目に熱い議論が繰り広げられた「パート・ド・ヴェール」、「古代ファイアンス」、「フリット」などをテーマとした発表を予定しました。前回と同様、興味深い議論が展開されることと期待しております。皆様ふるってご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

日時：2016 年 1 月 23 日（土）

開場 13：00

発表（質疑応答含む）

13：30～14：30 「古代エジプトファイアンスとは何か？定義と復元実験」

発表者 佐藤史峰・山花京子

古代ファイアンスはガラスが出現する約1500年前より存在し、連綿と作り続けられていたが、紀元後2世紀頃を境に廃れてしまい製法も忘れ去られてしまう。今回の発表では定義が混乱しがちな「古代ファイアンスとは何か？」を検証しつつ、現代のフリットやパート・ド・ヴェールとの接点を探る。さらに、製法の失われてしまったファイアンス製品の復元実験を行い、古代の製作技術の考察を行う。



実験焼成後

休憩 15分

14：45～16：00

発表者 池田まゆみ「パート・ド・ヴェール」とは何か？

世紀末から 20 世紀初頭のアール・ヌーヴォー、アール・デコ期にフランスで流行したガラス技法「パート・ド・ヴェール」。彫刻家のアンリ・クロスが 1885 年頃古代エジプトの遺物を手本に技法の復元にこぎつけたのが始まりとされている。その後 20 世紀初頭にかけてダムーズ、ワルター、アルジールソー、デコルシュモンらがこの製法で創作活動を行ったが、デコルシュモンを除き製法の仔細は明らかにされておらず、用語の定義も今一つはっきりしない。今回の発表では当時の文献をたよりに、「パート・ド・ヴェール」の用語について考察検討したい。

休憩 15分

16：15～17：30

発表者 床坊睦美「現代作品にみるパート・ド・ヴェール技法 ～制作の現場レポート～」

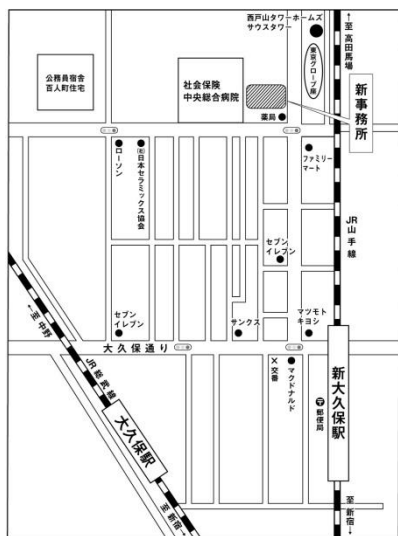
石川県能登島ガラス美術館で開催する企画展「～ダリも魅せられた神秘の技法～パート・ド・ヴェール展」（2015 年 12 月 19 日～2016 年 4 月 3 日）より、出品現代作家 6 名（安藤ひかり、今井茉莉絵、内田邦太郎、加藤尚子、高橋まき子、西悦子 *50 音順、敬称略）の制作工程、表現のこだわりなど各作家に取材した内容をご紹介します。

研究会参加について：

会員の皆様の研究会へのご参加は無料です。非会員の方々の参加については、参加費 500 円を頂戴いたします。

会場の椅子準備の関係上、ご参加になる方は前もって1月16日までに事務局あるいは山花のメールアドレス yamahana_kyoko_egy☆tokai-u.jp (☆を@へ変更してください) へご連絡いただけますよう、お願いいたします。

場所：



日本ガラス工業センター（左記「新事務所」）
地下一階会議室

〒169-0073 東京都新宿区百人町 3-21-16

最寄り駅：JR 新大久保または大久保

当日の連絡先：研究企画理事 山花

090★9367★2701（黒★＝ハイフン）

入場方法：

本会場はセキュリティー上、常時開扉はしておりません。できるだけ 13:00～13:30 の間にご入場下さい。ご協力をお願いいたします。

新年会について：

研究会の後には新年会を予定しています。お一人の予算は5000円です。新年会に参加ご希望の方は事務局か、上記のメールアドレスに1月16日〔土〕までにご連絡ください。それ以降のキャンセルについては、実費をお支払いいただくこととなりますが、悪しからずご了承願います。

以上

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

関東研究企画委員
藤原信幸
奥野美果
山花京子
事務局 井上暁子

Fax 送信用紙

日本ガラス工芸学会
事務局 気付 (Fax 03-3700-9140)
研究企画部門宛

2016年1月23日の研究会（関東）に参加いたします。

参加者氏名 _____

参加者連絡先 _____

新年会へは（参加します・参加しません）

通信欄：